

会 議 録

第7回地域の学校教育のあり方を考える会

地域の学校教育のあり方を考える会

事務局 多可町教育委員会教育総務課

第7回地域の学校教育のあり方を考える会 会議録

■日 時 令和3年8月5日（木）午後7時00分～午後8時45分

■会 場 交流会館

■出席者 27名／29名（敬称略）

・会 長 宮崎 信彦 ・副会長 橋本 衛 ・副会長 伊藤 竜太
・委 員 藤原 恵美 多方 正行 西田 修 熊田 勝彦 足立 浩之
藤田肇秀（欠）安藤 和志 堀口 善弘 笹倉 敏弘 植山 恵
寺尾 元基 足立 吉継 藤田 貴久 植田 美香 中里 尚子
西村 恵子 藤村紗綾佳 岩本 亜希 宮崎あゆみ（欠）
長澤 高意 神崎 進吾 足立 徳昭 大久保修也 荻野 学
吉田 重徳（代理前田洋二） 竹中 裕貴

【事務局】

・教育長 越川 昌信
・教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織
・学校教育課長 吉田 勇二
・学校教育課副課長 吉川 成悟
・教育総務課副課長 山本 聡
・教育総務課主査 有田 好孝
・教育総務課主査 安平智香子

■傍聴人 4名

■議題

- （1）次第3（1）会議録の承認について
- （2）次第3（2）住民説明会の意見について

■会議結果

- （1）第6回会議録が承認されました。
- （2）委員による意見交換を行い、中学校については統合の方向で、次回以降、その課題について議論することとなりました。

■会議の経過

次第 1. (事務局)	開会 ただ今から『第 7 回地域の学校教育のあり方を考える会』を開催いたします。
	資料の確認と注意事項 会議を始める前に、資料の確認と注意事項がございます。 ○資料の確認 ○注意事項（紙面により） ・会議録作成のための録音 ・会議録は委員承認の上、後日ホームページで公開 ・傍聴希望者への注意事項
次第 2. (事務局)	会長あいさつ それでは、次第に沿いまして会議を進めさせていただきます。 次第 2 でございます。会長あいさつをお願いいたします。
(会長)	みなさんこんばんは。コロナウイルスの感染者がまた増えております。東京では 4 0 0 0 人を超えたとの報道もありました。まだまだ予断を許さない状況です。この日も第 7 回目を迎え、保護者向けの住民説明会が終わったところです。住民説明会に参加しますと参加されている保護者のみなさんの方が、我々より先に進んでいて、統合するか、しないかの議論をまだしているのかというような感じを受けました。今日は、住民説明会の意見を見ていただいた上で、みなさんからご意見をお願いしたいと思いますのでよろしくをお願いいたします。
(事務局)	ありがとうございました。 本会議は、設置要綱第 6 条第 2 項により、本日の出席者は 2 7 名であり過半数を超えておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。
次第 3. (事務局)	議事 次第 3. 議事でございます。 ここからは、要綱第 6 条の規定によりまして、宮崎会長により進行をお願いしたいと思います。会長よろしくをお願いいたします。
(議長)	それでは、ここから議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。 議事の前に、会議の公開、非公開、傍聴について一括してお諮りいたします。 会議の公開、非公開については、特別非公開とする事項はないものと思っておりますので、公開会議を提案します。 次に、本日の傍聴希望ですが、特に傍聴要領に違反されている方もいらっしゃらないので、設置要綱第 9 条の規定により許可したいと思いますと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

	(異議なし)
(議長)	それでは、傍聴を許可したいと思います。事務局、注意事項をお願いします。
(事務局)	はい、傍聴者の注意事項につきましては、お渡ししております「傍聴を希望される方への注意事項」をご確認ください。 本日の会議資料とあわせまして、過去6回の会議資料を傍聴用として準備しておりますのでご覧ください。ただし、持ち帰りはできませんので、よろしく願いいたします。必要な方は、教育委員会のホームページから資料をダウンロードできますのでご活用ください。以上です。
(議長)	傍聴人の方々におかれましては、会議の運営にご協力をお願いいたします。
議事(1)	会議録の承認について
(議長)	では、議事に入りたいと思います。まずはじめに、議題(1)会議録の承認についてです。事務局お願いします。
(事務局)	はい。出席のみなさまから、議事録承認書の提出をいただきました。欠席されている委員様の会議録承認書が揃い次第、近日中に、ホームページで公開したいと考えております。ありがとうございました。
(議長)	それでは、本日出席のみなさんからの承認をいただいたとのことですので、本会で承認したいと思います。よろしいでしょうか。
	(異議なし)
(議長)	それでは、欠席者の会議録承認書が揃い次第、この内容でホームページでの公開をお願いします。
議事(2)	住民説明会の意見について
	続きまして、議事の(2)「住民説明会の意見について」に入っていきます。事前に住民説明で出た意見を読んでいただいていると思います。みなさんの意見や感想をお願いしたいと思います。
	中学校と小学校について、本会としての方向性は、統合なのか、現状のままなのか、本会の最終的な意見も少し意識していただき、今日は、時間の許す限り意見交換を行いたいと思います。
	まず、はじめに住民説明会の実施状況について事務局説明をお願いします。
(事務局)	はい。事前に送付しました「住民説明会における意見の整理」1ページをご覧ください。小さなお子さんをお持ちの子育て世代から、こども園、小中学校の保護者のみなさんを対象に、6月から7月にかけて住民説明会を開催いたしました。 まず周知の方法ですが、中学校までのお子さんをお持ちの全てのご家

庭、いわゆる子育て世帯（1670世帯）へ向けまして、現況説明の動画QRコード付きの案内チラシを、こども園、小中学校を通じて配布いたしました。実際配布したチラシは2ページ目になります。ちなみに、説明動画の再生回数は291回でした。これは、全体の18%になります。

中町南小学校と松井小学校では、説明動画のみでの実施となっています。

そして、説明会は、区長会も含めまして14会場で実施いたしました。説明会にご参加いただいた方は全部で254人。区長会以外では194人の参加がございました。子育て世帯全体の12%にあたります。少ないですが、各会場、輪になって、役員の方を中心に、保護者のみなさんのご意見や感想を何周もしながら伺いすることができました。先生や町会議員さん、会長にもご参加いただきました。

また、配布したチラシにご意見やご感想を記入していただき、学校園を通じてお寄せいただいたご意見が171件。説明会でいただいたご意見と合わせまして、231件の意見を頂戴することができました。これは、子育て世帯の14%に過ぎませんが、全ての子育て世帯へ案内や説明動画を配布した上で、ご意見のある世帯から、統合について、賛成や反対、どちらとも言えない心情、本会のワークショップでも出ました、統合に向けた課題や不安など様々な意見をいただきました。

そして、この231件のご意見を分類しました。小学校中学校どちらかの統合に賛成のご意見が61%、統合は反対のご意見が8%、どちらともいえないというご意見が31%という結果になりました。これは、YES、NOのアンケートよりも、当事者である保護者のみなさんお一人お一人が、現状についてしっかりと考えていただいた結果ではないかと考えています。

また、委員のみなさんから、子どもたちの意見を聞いて欲しいとの意見がございましたので、7月31日に3中学校の生徒会を対象に、これからの学校、教育を中学生自身が考えると題した多可町サミットを開催いたしました。そのことについて、パワーポイントでご紹介したいと思います。

まず、講師として兵庫県立大学の竹内先生にお世話になり、3中学校の1年生～3年生までの全生徒に事前アンケートを行いました。アンケート結果から説明しますと、「自分には良いところがあるか」という問いに対して、多可町の中学生は73.0%、日本の平均よりも高い。この比較対象のデータは、平成26年度版子ども・若者白書に掲載されている日本を含めた7カ国の満13才～29才の若者を対象とした意識調査結果と比較しています。

次に「将来に明るいイメージを持っているか」という問いには、多可町中学生は74.2%、日本の平均よりも高い。

次に、「何事にも意欲的に取り組む」という問いには、多可町の中学生は77.9%と世界に肩を並べる水準。

そして、「友だちに満足しているか」という問いには、なんと90.5%と世界一という結果がでました。まとめますと、自己肯定感、やる気、将来への明るい展望は、全国平均よりも高く、しかも、友だち関係に満足している子どもたちは世界水準よりも高いという結果になりました。そして最後に、何事にも意欲的に取り組んで、将来に明るいイメージを持っている、友だち関係に満足している子どもたちに、「将来、子ども

ができれば、多可町で子育てしたい、学ばせたいと思いますか」と聞きました。中1の男子ですと、「そう思う」、「まあ思う」で7割を超えています。中2、中3になりますとどんどん下がって4割になります。なぜか。次に、中1の女子ですが、同じく7割を超えています。学年が上がるごとに下がっていく。なぜか。サミットでは、その差について、何事にも意欲的に取り組めて、将来に明るいイメージを持っている、友だち関係に満足している子どもたちが、なぜ、学年が上がるごとに自分の子どもを多可町で学ばせたいと思わなくなるのか。その点について、3中学校の中学生たちが混合の3グループに分かれて、自ら考え、ワークショップをし、発表してくれた内容についてご紹介したいと思います。動画をご覧ください。

(動画視聴)

以上のとおり、中学生の発表をご覧くださいました。

最後に、中学生たちがこの多可町サミットを終えた感想をお聞きください。

(音声視聴)

ご覧いただきましたように、9年間義務教育を受けてきた彼らの率直な意見だったと思いますし、後輩に残したい教育として捉えていいのではないかと思います。以上です。

(議長)

はい。ありがとうございます。住民説明会の実施状況についてとこれからの教育についての中学生の発表をご覧くださいました。事前に住民説明で出た意見を読んでいただき、みなさんの意見や感想をお願いしたいと思います。

中学校または小学校について、本会としての方向性、統合なのか、現状のままなのか、本会の最終的な意見も少し意識していただいて、ご意見をお聞かせください。では、順番にお願いします。

(委員)

私は統合の方向で行きたいという思いがあります。理由としましては、私の子どもが次、小学校1年生になるのですが、クラスの人数が十数名になるということで、同じ学校に行くであろう保護者の方が言っていたのは、人数が少なすぎると言うことと男女の割合が偏っていることで、6年間その学校へ行かせるには不安があって、学校を変えたいという思いがあると。そして他からも少ない人数の学校よりは、人数が多い学校に通わせたい、私自身もそう思うのが正直なところです。ただ、少人数であることのメリットはすごくあると思うんです。本当に丁寧に指導していただけるというメリットを感じていますので、まず小学校に入って少人数で教えてもらえるのは安心な部分もあるのですが、私としては、ある程度人数がいた学校で学んでいましたので、いろんな価値観であるとか、友達や先生、地域の方とかいろんな人と関わって、子どもは大きくなって欲しいなと思いますので、そういうところからも中学校は多くの人数で、そういう環境で育って行って欲しいと思います。ただ統合したときに心配になるのは、通学面のことです。できるだけ保護者のみなさんが納得した形で、身体面とか金銭面に負担の無いような形で、統

合の方に進んでいけたらいいなと思っています。町の予算をできる限り学校の方に割いて頂いて、正規の先生でまかないきれない場合は、町の費用で補助員さんを雇って頂いて、学校に来にくい子がいる場合は、フォローの体制をしっかりとって頂けたらと思います。

(委員)

わかりやすく資料をまとめて頂いてありがとうございました。○△×で分けて、パーセンテージも書いてあってわかりやすかったです。ありがとうございました。私には、小学生、中学生、高校生の子供がいます。全員に今回の件について確認したところ、「友達が増える」と言うことを純粋に想像してわくわくしていました。その次に、どこに新しく建つのかな、どうやって行くのかなとか子どもなりに持った疑問が順番に挙がってくるのですが、とりあえずびっくりしたのが、一番にわくわくするという意見を言ったのが、純粋な子どもたちの意見なのかなくて感じました。きっと統合するに当たって、統合してから出てくる心配な意見というのは、もうすでにこの意見の中に挙がってきていると思うので、今の間から統合した後の問題点がある程度フォローできる体制がとれるのかなとこの資料を見て思った純粋な意見です。せっかくこれだけの素晴らしい意見があるのですから、もっと活用して、いろんな方の意見を聞けたというところで、大いに役立ててもらえたらなと思いました。以上です。

(委員)

この意見は全て保護者の意見だと思います。どのような学校であって欲しいかという、子どもたちが楽しめて、よく学べて、友達もたくさん作れて、子どもたちにとっていいようになったらいいなと思います。私の子どもは、小学校、中学校に通っていますが、一度だけ友達に対する不満を言ったことがあって、気づかなかったのですが、やはりクラス替えができるような環境というか、居りづらい環境のクラスがずっと続くのではなくて、違う友達ともふれ合って、また自分が変わっていきけるような、そういうチャンスがあるところだと思っています。結論としては、統合がいいか悪いかと言われると決めきれないところがあるんですけども、人数のところから考えると統合の方が子どもたちにとっては良いのかなと個人的には思います。

(委員)

この前小学校の説明会に行かせてもらったんですけど、来られていた方は、この人数では統合も仕方ないのではという意見が多かったと思います。意見としては町の財政で先生を雇ってもらえないかという意見がありました。あと、地域にある多可高校生にも、これから子育てしていく世代の子たちにも、同じような説明会を開いて、意見を聞いて欲しいという意見がありました。行ったときに来られていた方がすごく少なかったんですけど、他で出会ったお母さん方に話を聞いた感じでは、まだまだ先のことで、自分たちの子どもが大きくなった後のことだと思っている方が多くて、私はこの会に参加しているから意識して見えていますけど、まだまだ知られていない方がたくさんおられたので、今後も継続的に説明会とか情報を広報にどんどん載せていって欲しいです。あと、中学生の子どもたちの意見、すごく、ありがとうございました。子どもたちはこういう風に考えているんだなと、子どもたち一人一人しっかりとした意見を持っていたので、統合しても大丈夫なのかなという感じを受

けました。以上です。

(委員)

昨年度からこの会議に出ている、メリットについて、デメリットについて、様々な意見がたくさん出たと思います。これからは、それをもうこっちにするよ、あっちにするよと決めて、そのメリットをより増やし、デメリットをいかに潰していくか、そっちの作業に当たった方がもっと建設的な考え方ができると思います。今からまた統合するのか、しないのか、子どもの数が増えないか、減ってばかりやなという話を毎回毎回続けていって、この2時間、また2時間という会議を続けていくよりも、そこの上に積み上げていくような会議を進めていって欲しいと思います。事務局も資料をたくさん出していただいて、中学生の意見も出てきていますので、ここで話し合った結果がこういう意義があったな、委員である私たちも充実感を得て、この会議が終わっていけばいいなと思いますので、そのあたりをもう一つ考えて頂けたら、私たちももっと参加する意義があると思いますのでよろしくお願いいたします。

(議長)

確かにそう感じます。私もそう感じています。

(委員)

小学校の説明会に参加しまして、保護者の方の意見を聞かせていただいたんですけども、私自身としては中学校の統合については反対だったんですね。中学校がなくなるなんて、僕の母校なのでその意見が強かったんですけど、説明会の時に、子どもたちにとっては、新しい学校が母校になるんやからというのを聞いて、やはりそうなんだなと思ったこともあったし、先ほどの中学生サミットの様子をみると、問題ないのかなという風に見えました。子どもたちはゲームとかで他市町の子どもたちと遊んでいるので、子どもたちって結構柔軟なんだなと思ひまして、僕らの方が田舎もんで、街に行ったらビビってしまうような人間と違うのかなと思いました。私は北部のほうの人間なので、統合となると遠いところになるのかなと思うので、通学とか、もうわかっているんだったらデメリットを解消していくような話をしていく方がいいのかなと思います。以上です。

(委員)

中学生サミットの動画を見たり、説明会の意見を見たんですけども、すごい率直な意見が出ていて、素直な鋭い意見があって、意見を収集できて良かったなと思って、そこで考えた意見ですが、昨年から校長先生と話していた中で、子どもたちに選択肢が多い方がいいよねって話をしていました。選択肢を増やすのであれば子どもたちの人数が多い方がいいと思ったので、アンケートにも部活動の話が出ていましたので、部活動の選択肢が多い方がいいと思いました。中学校で外部指導をしていますが、子どもたちと「統合するの」という話になりまして、すると子どもたちは「統合したらいいやん」「学校なくなってもええやん」って言うていました。子どもたちは結構ドライですし、統合についても結構前向きに捉えているというか、統合も仕方がないのかなというか、部活動の選択肢が増えたらいいなと思っているんだなと思いました。以上です。

(委員)

私は統合に賛成の方に気持ちがあります。子どもがクラス替えを楽しみにしているんですけど、2クラスですけど喜んでくれています。偏った

友達ができてしまうので、ちょっとでも他校との交流が増えれば、社会に出る準備が早い段階でできるのではないかと思うので、統合には賛成したいと思います。あと、メリット、デメリットが分かっているのので、早くそれについて、委員のみなさんも時間のない中集まっているので、そっちの方に重点を置いて進めていって欲しいと思います。以上です。

(委員)

委員のみなさんはとても前向きに考えておられるなど感じています。子どもことを第一に考えてもらって、みなさんそういう意見だと思えます。僕もそういう意見で、子どものことを第一に考えてもらって、どうするのかを決めていってほしいなと思います。大人の意見は置いて、子どもの意見をと率直に思います。中学生サミットを見せてもらっても、すごくハキハキと3中学校の生徒が集まって、班を作って、子どもたちはすぐに仲良くなるんだなど。やはりはじめは違う中学校と統合したときには怖いと思われると思うんですけども、子どもたちはすぐに仲良くなると思いますので、集約した意見のこともあります。やはり統合は致し方ないのかなと自分なりに思っています。以上です。

(委員)

先ほどから意見が出ている、私もどちらかという統合に賛成の意見です。一番の理由は、人数が多い中で学校生活を送れると。私にも孫がおりまして、中学生なんですけども、意外と町で決められたらその体制に従うという主旨の意見を言っていました。不安とか損とか得とかいう話もしていましたが、それを自分たちで選んで実現するということは多分できないと思うので、だったらその体制の中で、一生懸命やるだけだと本当に潔い気持ちで話をしてくれました。以上です。

(委員)

まずは、この資料や冊子、説明会、本当に時間をかけて、多くの方々意見、そして事務作業も含めて、きちっと手順を踏んで進められていることについて、感心というかびっくりしました。多くの方々に会議の透明化、わかるように時間はかかるけども、知らせてもらって、感想も頂戴したりしながらやっていくことはとってもいいことだと思います。意見の中身の賛成や反対等があるわけですが、これは時期が来たら進めて行かれると思うんですけども、本当に時間をかけて多くの方々の意見を集約されて公表される、透明化の中で話が進んでいくことはとても喜ばしいことだと思います。地域の方からの感想ですけども、夏休みに入って子どもたちは、地域のラジオ体操が始まっています。小学生を見ていると上級生が下級生の世話をしながらラジオ体操を毎日やっています。登下校を見ていると、以前よりも上手に上級生が下級生をリードして丁寧に並ばせたり横断したりしている。子どもたちはそういうところで社会性を身につけているんだなど感じます。個人的に思うにですが、意見を見せていただいて、特に少数の意見からヒントがあるので、反対の意見から読ませていただきました。社会性を軸にみてもみますと、乳児は家族の中で、幼児は近所の友達と遊ぶ中で、小学生は発達段階で違うけれども、それなりの人数が必要、支援も必要、ルールやマナーも身につけなければならない時期である。中学生になると青年前期に入りますので、人と人との交わりがかなり必要となってくる時期だと思います。統合の話は、人と人とのつながりが、交わりが多い時期に入るときに、統合というのは子どもたちのためには環境を変え

て、考える時期かなと思います。小さいお子さんは家庭が基準です。どの段階でも家庭が基本なのですが、社会性の発育・発達段階に応じて、統合を考えられたら、小学校か中学校か分かりませんが、統合の方向で、一つのヒントになるのかなと個人的には思います。たくさんのお意見を聞かせていただいて私も参考になりました。ありがとうございました。以上です。

(委員)

昨年からずっと統合やむなしという意見で、中学校の本分である学業のことを考えると、先生の数が必ず不足する。となると統合しか仕方が無いでしょという意見を持っています。そんな中で、今日意見を聞かせてもらって、先ほど委員のお子さんが友達が増えると、3月にうちの村の子供会の総会に顔を出して、子どもたちの現状を話すと保護者の方から、統合は致し方ないという感じで、その中の保護者が帰って子どもに聞いたら、「友達が増えていいやん」って簡単にあっさりと言ったそうです。私事になるのですが、高校は地元の高校でなくて、その後、青年団に入ったときに、周りの友達は他の友達とスッと馴染めていた。結局同じ高校出身とかだったから。田舎に帰ってきたときに友達というのは非常に大切だと思うんです。多可町で学校を統合したら、多可町での友達が増える。そしてその子どもたちが多可町で住んでくれるようになったら仲間内でもできますし、高校でもできますが、そういう多可町中の仲間が早い時期にできるから、定住対策にも非常に友達は大事だと思いますので、私は統合の方向で考えていったらいいと思います。それと、デメリットを考えて進めるという話もありましたし、私はこの会としては、統合やむなしといった方向で行って、統合して、通学のこと、学校のこと、財政面のこと、特に財政面のことについては、もっと上の方に早くこの話を持って行って、令和8年、9年というリミットもありますので、そっちの方に話を進めていく方がいいと思っています。以上です。

(委員)

大人の考えで、それぞれ文化が違うなど不安を持っていたのですが、先ほどの中学生サミットの動画をみせていただきますと、その不安というのが私の中から払拭したような感じで、そんなに心配することもないのかなというふうに見せてもらいました。以上です。

(委員)

なかなかはじめは取っつきにくく、孫も県外なので子どもと接する機会が無かったのですが、1年間みなさんの意見を聞いてきて、この多可町に住む以上は、子どもに対する接し方、愛情というのが非常に重要だなとつくづく感じました。その中で、ある時期は私のワークショップのグループの中では、なんとかもう少し統合しないで、打開策が見つけれないかなという意見も一時は出ました。その後、いろいろ資料をまとめていただいた中で考えますと、全体的に統合やむなしという意見を含めて、統合賛成の意見が8割、9割出ているのかなと感じています。そういう意味では、本会の方向性を、今回か次ぐらいに決めて、統合するのであれば統合するに当たって、いろいろなメリット、デメリットがあると思います。先ほどの3校の中学生が議論している中学生サミットの動画の中で感じたのは、3校一緒に話し合った機会が無いと、非常に新鮮であったという話が出ていたと思います。そういう意味では、統合するに当たっては、子どもたちから見ると非常に期待感もあるのかな、そんなに心配することはないのかなと感じています。多可町の未来アンケ

ートの中でも中学生の前向きな意見が占められていますし、統合するという方向性を決めた中で、早い段階でメリットを生かす、デメリットを潰す方策の検討に入る方がいいのかな。検討するに当たっても、具体的などころをここで議論するのか、例えば、新しい中学校を作る場所であったり、校舎を新しくするのかしないのか、通学の問題、バスとかいろいろ問題が出ます。そういった問題を行政に漠然とした内容で意見するのか、より具体的な方向を本会の中で見つけて示していくのかということも含めて、検討していく必要があると感じています。以上です。

(委員)

意見をまとめていただいている資料を見て、保護者の方の意見もそうですし、一番は統合するしないになると思いますが、統合するとき、その時期に中学1年生と2年生が次の学年に上がるときに3校一緒になって統合する、その時期の子どもさんの立場とか保護者のことを考えることが一番大切かなと思います。もし、慣れなかったり、馴染めなかったり、いじめにあったりした場合、どうしてあげられるかというのを、事前に統合時から対策を講じておいた方がいいのかなと思いました。今日見た中学生サミットの動画では、すごく積極的ですし統合しても大丈夫なのかなと思うんですけども、みんながみんなそういう生徒ばかりではありませんので、やはり弱い子の立場も考えて何か対策を考えておく方がいいのかなと思いました。以上です。

(委員)

先ほどの多可町(中学生)サミットの動画を見せていただいて、すごい幸せな気持ちになりました。多可町の中学生が自分の意見を、他の人の意見を一旦自分に吸収し、それを自分の考えでもって発表するというのが、すごい素敵な、こんなことができている子たちなんだと思って。中学生というタイミングで他の人と触れ合ってそういう体験をしている。そのタイミングもいいのかなと思いました。やはり子どもたちが育つには人間の数というのは大事だと思っているので、私も統合の方向でと思っているので、大人が不安げな顔、態度をしているとすぐに子どもたちに敏感に伝わるので、それを常に前向きに捉えてこういう風にしたなら、こう解決できるよという指針みたいなものを大人が示していくことで、子どもたちが「あっ、そうすればいいのか」という楽な気持ちになれるようなことを教えるようなイメージをしていったら、割に精神面のデメリットのことも解決できるのかなと思っています。以上です。

(委員)

統合か、統合でないかというところで、統合していくのだろうと私自身は受け止めています。ただ、学校の立場から言うと、学校の先生方がいかに余裕を持って子どもたちと向き合いながら教育活動ができるかというところが一番大切かなと思うんですけど、子どもの人数が多くても少なくても、目の前にいる子どもをどのようにして育てていこうかというところを一番に考えながら教育活動を全ての先生は取り組んでいます。多くても少なくても学校にとっては関係ないのかなと思っています。意見がいっぱい出てきている中で、学校に限った意見と町全体として考えるような意見とかいろいろな意見が出ているので、そのあたりが整理されて、統合された時に、×の意見、マイナスの意見をプラスに変えていくような前向きな教育活動が進めていけるような環境づくりを各学校が取り組んでいかなければいけないのではないかと思います。意見を聞いて一番の課題は、通学かなと思います。バス通学の中学

生が部活動をする場合、バスの時刻が合わないと自転車で登下校をしていた。他の生徒よりも通学に時間がかかるため、言い換えれば、その時間は無駄な時間を過ごしていると感じたことがある。通学面はきちっと整備されればよいと思います。そのあたりが改善されれば、子どもたちはプラスのイメージを持てば、何事においても伸びていきますので、先生方とともに、また地域の方々とともに上手にやっていくことができるのではないかと思います。

(委員)

結論から言いますと、統合なのかなと思っています。前回の会議で話を聞いた中で、今の状態だと学校の先生の数も限られていて、いろんなことを先生方が少ない人数でやらなければいけないということ聞きました。もし、学校で何か起こったときに、対応してくださる先生方が少ないと、やはりそれは不安かなと思います。少しでもたくさん先生がいらっしゃる中で学校生活を送る方がいいのではないかと思います。それと、私の学生時代には部活動に何に入ろうかなと悩んで入ったのが当たり前だったのが、今は部活動に限られていたり、学校が小さくなると部活動の選択肢が少なくなることを考えると、いろんな選択肢の中で子どもが部活動を選ぶことができるということを考えると統合かなと思います。

(委員)

住民説明会には私も参加いたしました。意見を読ませてもらうと予想以上にみなさんは早く統合を望んでおられるのかなというのが正直な感想でした。今日一つ驚いたことがあります。中学生の子の未来に明るいイメージを持っているし、何事にも意欲的に取り組むし、友達関係は90%を超えて満足していると。先ほどの中学生サミットの動画を見させていただいても、中学生の子が初めて出会って、サミットしながら、いい雰囲気の前へ進めていると思います。すごくいい形で進めていると言うのが実感で、だからこそ中学校は統合したらいいのではないかと思います。ただ、ご心配もあったとおり、90%は満足していても10%は満足していない子もいるんだかなと思います。教育者としてはそこも見えていきながらしていきたいかなと思いました。前回の住民説明会で言わせてもらったのは、小学校では、きちんと愛情を持って下から支える形で、しっかり自分が育ててもらっているなということを実感しながら育てて欲しい。中学校では、自分が信じられているということ、有用やということを実感しながら、だからこそ外へチャレンジしていく時期になって欲しい。そういう意味で言ったら、中学校は統合に向けて進んでいくべきかなと私自身は思っています。確かに6年後にはすごく人数が減って、各学校1学年1クラスを維持するのが難しくなるのではと思います。それまでに、答えや結果を出していかなければいけないと私自身は考えております。以上です。

(委員)

意見の集約については、統合賛成の方が非常に多いなと感じております。委員のみなさんの意見の中にも、ほぼ統合に向けてという方向で進んでいきそうな意見がほとんどだったと思います。子どもたちの人数を見るとそういう方向でというのが自然な形なのかなと思っています。それから、今の中学生、とてもいい形で、それぞれの学校で、それぞれの学校の特徴を生かしながら取り組みを進めてこられていますので、それが統合という方向になっていく時に、それぞれの学校の良さを生かしな

がらというところを、いかに進めていくのかという視点や大切にすること、残していくこともしっかり議論していく必要があるのかな。次の段階に進むときに、そういったことも大切にすべき事かなと思います。それとそれぞれの委員さんの子どもさんの意見であったり、学生さんの言葉で、「友達ができて楽しみや」というご意見も多数ありましたけれども、中にはやはり環境が変わる事への不安を持つ生徒もいるだろうと思います。だから統合に向けての方向が決まった時には、そこに丁寧な取り組みであったり、議論がさらに必要であるなど感じております。以上です。

(委員)

住民説明会の参加者が少なかったという現実があります。子どもたちがこれから中学校に行く家庭にとっては、切実な問題であると思うのですが、そこら辺の温度差があるのかなとその時に感じました。でもその中で出た意見で、様々な面からこの課題を捉えて考えることが大事ではないかと言われた保護者がいて、やはりお金のことや財政のこと、将来多可町どうするんだなど、いろんな人それぞれの捉え方があると思うんですけども、そういう面からも「この課題を考えましょう」と啓発していくことが大事かなと私も思いました。たくさん意見がある方が、より良いものを見つけていくことができます。次のメリット、デメリットを考える段階に移るにしても、やはり多くの意見を聞く、そういうスタンスが大事かなと思いました。多可町に関わる多くの人から多くの意見を吸い上げて、進めていくことが大事かなと思っています。以上です。

(委員)

統合することを前提に進めるしかないと思います。今、国の方では35人学級が今年から導入されていて、令和7年度までに全て35人学級になることが決まっています。小学校でも高学年の教科担任制度導入ということで、本校はモデル校ということで、専科の先生を入れたりしています。こうなると今まで少人数で算数を2クラスに分けて授業していましたけれども、そういった人数の先生が、専科の方へ回ってくれとか、学級担任の方へ回ってくるので、きめ細やかな取り組みが非常にやりにくくなってくると思います。高学年の教科担任制と言うことになりますと中学校に繋がることになりますので、できるだけ早い段階で統合をすることは必要だと思います。この会もコロナの影響でずいぶん延びているんですけども、みなさんの意見を聞いていて、統合すると決めたなら、より良い統合ができるように、どう次に準備段階に進んでいくのか、そちらに早く移らないと。例えばいろんな意見ばかりを聞いていて延びていった時に、統合ができなかった。できなかったけど、3歳児、2歳児、1歳児、0歳児の出生数2桁台の世代が、実際に統合したいときにできないとか、そういうことになれば、建物から何からいろんな事が後手を踏んでしまうと思うので、なんとかより良い統合ができるようにしていかなければいけない。子育てするなら多可町と言われてはいますが、やはりお金、費用はかなり大きな条件になると思います。しっかりと確保するためにも、早い段階で統合を進めていくことが必要だと思います。以上です。

(委員)

統合がいいのか、地域に学校を残すのか、いろいろな面から、様々な角度から、様々なご意見を伺って協議を進めてきました。そして、この度14会場で説明会を開いて、丁寧に子どもの意見も聞いて進めてもら

っていると思います。この会のみなさんの意見を聞きましても、もうそろそろこの会の機は熟したかなと思います。統合やむなしというところで、統合に向けて、新しいステップへ、次のステップへ結論を出す、そういう時期に来ているのかなと感じています。以上です。

(委員)

私はなんとかこの地域に学校を残せないかという意見を持っていましたが、反対されている方で、学校がなくなることによって地域が廃れていくんじゃないかとすごく不安感を持たれている。ただ、この会が学校の適正化を考える会であれば、当然統合なのですが、地域の学校教育のあり方を考える会で、みなさんのご意見が、少ない人数で分かれてやるよりも、ダイナミックの一つに集まってやっていくのがいいんじゃないかという意見をみなさん言われていたので、そのご意見であればそれを尊重するというか、うまくいくような形で、いろんな統合される際の学校のトラブルも結構あると思うんですけど、全力でトラブルにならないようにするのも私の仕事だと思っていますのでがんばっていきなと思っていますが、地域の方で、意見を発しない方が、人が減っていったときに、どんどん人数が減っていったときに、例えば、多可町で生まれた人数が66人、この先10人とか20人になっていったら、この先どうなるのかという不安を抱えたりしているのと、あと今回のこのアンケートでショックだったのが、「将来子どもを多可町で学ばせたいか」という中学生の思いが、半数くらい「思わない」というような部分で、素敵な地域ですので、この地域で将来支えてもらえるような、子どもたちが戻ってきてもらって住んでもらえるような形で教育していかなければいけないなと思いつつながら、地域の良さをもう一回子どもたちに伝えられるように頑張っていきたいなと思います。以上です。

(副会長)

子どもたちの望ましい教育環境を実現するためには、どういった形がいいのかをみなさんと共に考えさせていただいているのですが、個人的には最初から統合やむなしかなと思っていたのですが、地域の方々の意見とかを聞く中で、本当にどれが一番いいのかなと言う中で、今回事務局から、意見集約で数字を出されたのが、客観的な物差しとして、とても大きな役割を果たしてくれるのかなと思いました。その中で統合になれば一番影響を受ける就学前の保護者の意見を見ていたら、どの世代よりも○(統合賛成)の割合が高く、当事者としての意見として67%と高い割合を示していると思います。少し丁寧でないやり方かも知れないのですが、△(どちらともいえない)がどちらでもないという数字として捉えたら、○が141件、×(統合反対)が18件ということで、そうしたときに、○のパーセンテージは89%で、×の割合が11%ということで、90%近くが統合やむなしかなと捉えられるのかなと思いました。今までは、個人的な意見で統合だろうなと思っていたところですが、数字上からも現れてきているなというのが私の感想です。

(副会長)

中学生のアンケートで友達関係に満足している割合90%と紹介がありました。それが一番うれしい驚きです。中学生というのは、大人になりきれない微妙な段階ですので、友達のトラブルが毎日多発しています。その中で90%の満足度を示しているということは、本当に先生と一緒にうまく解決に持って行っているということで、本当にうれしく思ったところです。私はクラス替えについてお話をさせていただきたいと

思います。中町中学校は全て2クラスです。中学校3年生につきましては、兵庫県のモデル校に指定してもらっていますので、通常2クラスのところを3クラスにしてもいいと言うことで、中学校3年生は3クラスにさせてもらっています。3月に新しいクラス替えを考えるのですが、2クラスだと、どうしても人間関係で一緒にできない、どないしたもんだろう、この子の居場所がない、そんなことを本当に悩みながらクラス替えをしますが、今回3クラスにしていよいよ県から許可をいただいて、本当にそれによって救われた子どもたちがたくさんいます。学校に来ることができるようになった、別室から本当の教室に行けるようになった、そんな子がいますので、クラス替えができるということは本当にありがたいなと思います。以上です。

(議長)

はい、ありがとうございます。全員の方のご意見をいただきました。全体的にみましたら、もうほとんどが統合やむなしというより、統合を早くしようと言う感じの、私が怒られているような、早く進めて欲しいというような感じで、統合するかどうかではなしに、いつ統合するんや、どういった形でするんや、どんな課題があってどうするんや、早く決めてというような感じがひしひしとしました。

委員さんが学校を残して欲しいという意見だったが、中学校のサミットの様子を見て考えが変わった、心配ないと言われて。まさに私も統合に反対という事ではないんですが、中学生の様子心配だったんですけども、中学生サミットを見て、3校の生徒がみんな一緒にやっているのをみて、全然心配ないなと私もそう感じました。いずれにしても、みなさんから今日、意見をいただいたんですけど、中学校については統合なのかな、それから小学校については、同じように統合だということなのか、いやいや小学校についてはまだ先だとなるのか、中学校、小学校と分けてなかったのか、どうなのかなと思います。小学校について何かご意見のある方はいらっしゃいましたらお願いできませんか。

(委員)

学校での住民説明会では、小学校に関しては、まだ小学校としては全然統合については考えられなくて、中学校はという話だったと思います。小学校の意見を見ていただいたら、割と反対が多い。△(どちらともいえない)の意見もほぼ反対の方の△で、一番反対が多いんですね。反対意見を書いているのは私なんですけど。多可町は、こういう話がでたらもう決まっているんですね。そっちに流れないと仕方ないのかなと思うんですが、何回かあがいたこともあるんですが、なんとか変えられないかなと思って。まずは生涯学習センターの策定委員会ですね。前回の提言の際に、違った形で提言できないかなと思ったし、キッズランドの民営化の時も私は反対でした。結局は民営化に流れたのでいい形で民営化になった。もうこういう話が出たら、大体そちらへ向かうしかないのかな。それが今の多可町なのかな、というのが私の意見です。なんとか変えられるのなら変えたいなと思いますけど、小学校が無くなるのは私は反対です。

(議長)

もうお一方、小学校についてご意見をお持ちの方いらっしゃいませんか。

(委員)

小学校に関しては、低学年なら複式学級でもありではないかと思えます。親戚が複式学級の小学校で、小さいうちは楽しくやっているようです。でも5, 6年生になると難しいかもしれないですが、まだ小学校はそういう対応が可能なので、私は小学校はできる限り、今の現状維持のままでいていただきたいなど。地元に残して欲しいという意見もあるので。そう思っています。

(議長)

ありがとうございました。今日、結論としては出せない状況にありますけれど、私の感想としては、みなさんの意見は統合やむなしではなく、統合という方向に舵を切って、その課題を早く見つけて解決する。そういう方向にするべきではないかと。お叱りのようなご意見もありましたけれど、やはりそういう形に舵を切っていくということで、方向を変えていきたいと思うのですがいかがでしょうか。

(委員)

小学校の事で、さっき中学校の方向性が出たし、それでいいと思えますし、今のまま小学校は小学校でやっていくことは可能だと思いますが、さっき言った35人学級が入ってくることとか、出生数が3歳未満は2桁になる状況だとか、そう遠くない将来に、もし多可町で一つになっても単学級が出てくる可能性もあるし、そういう将来のことを考えると、個人的には財政に余力があればですが、小中一貫も含めて、先々のところも含めて、一度に統合してしまった方がいいと思います。ただ、小学校は今でもやっていけると思えます。人数が減ってもやっていけると思いますが、次にまた、小学校の統合を考えるのであれば、遅くなる可能性もあると思えますし、他市町の様子を見てとか言われますが、やるなら先に統合してしまって、子育てするなら多可町の状況ができればいいのではないかと個人的には思っております。以上です。

(議長)

はい。ありがとうございました。先ほども中学校の統合については、統合という方向に舵を切って、統合という形で整理してもよろしいかとお聞きしたのですが、頷いていただいている方もだいぶいらっしゃいましたので、またご意見は伺いますけれども、今日もいろいろと住民説明会を実施していただいて、意見も聞いて、中学校についてはもう統合の方向で課題を見つけて、整理をするという形でこの会も進めていきたいと思えます。また、ご意見のある方からはご意見をいただいて、やっていきたいと思えます。

それから、小学校については、一度に統合だとか、小中一貫校の話とか、一度に統合した方がいいのではないかという意見もありました。当然、小学校についても子どもたちはどんどん減っていくのですが、とりあえず小学校については、引き続き議論がもう少し必要なと思えます。今日のところは、中学校については、統合やむなしではなく、統合について課題を早く見つけて進めていく方向に舵を切りたいと思えます。よろしいでしょうか。はい。ではその方向で行きたいと思えますが、課題があったり、戻ってくることもあると思えますけれども、意見がありましたらまた言っていただいて、今後、12月ぐらいに意見書を出すというふうにしておりましたが、コロナ禍での会議の延期などがありましたので、あまり12月にこだわることなく、年度内に意見書をまとめるように進めていきたいと思えますので、ぜひご協力をよろしくお願いたします。

それでは事務局に返したいと思います。

(事務局)

はい。ありがとうございました。今会長の方でまとめていただきましたけれども、中学校については統合に舵を切ると言うことで、次回からはデメリットに関してまとめまして、その課題解決に向けて、こちらからご提案なりをさせていただきたいと思います。通学の面、財政の面、心のケアの面、そういった面につきまして、ご提案していきたいと思っております。ありがとうございました。

次第 4 .

その他

次第 4 . その他でございます。

地域のみなさんへの住民説明会を 3 回計画しております。日時は、8 月 20 日 (金) 午後 7 時から八千代プラザ、8 月 21 日 (土) 午後 2 時から加美プラザ、8 月 22 日 (日) 午前 10 時から中プラザで開催予定です。どの会場もどなたでもお越しいただけますので、地域のみなさんの声を聞く機会でもありますので、委員の皆さまもぜひお越しください。

また、第 8 回の会議の日程ですが、9 月 2 日 (木) 午後 7 時から交流会館で実施予定です。ご予約をお願いいたします。ベルディーホールがワクチン接種会場となっておりますので、次回もここを会場にしたいと思います。正式な通知につきましては、コロナウイルスの感染状況を見ながら、後日改めてご連絡いたします。

事務連絡は以上です。全体を通して何かご質問等はございますか。

(意見なし)

無いようですので、閉会のあいさつを副会長よろしく願いいたします。

次第 5 .

(副会長)

閉会

子どもたちにとってより良い学校とはということで時間をかけてずっと考えてきました。今日は、子どもファーストといいますか、子どもたちがどう考えているのかというのを動画で見ていただいて、保護者がどう考えているのか、本会の委員さんがどう考えているのか、ずっと意見交換をしていきましたが、大方の方の方向性が合致しているということを確認できた大切な会だったと思います。本日は本当にありがとうございました。お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。

終了時刻 午後 8 時 4 5 分